

ほうりゅう通信

豊橋市議会議員 中村 竜彦 市政レポート

発行者：豊流会(豊橋市今橋町1・豊流会)

Tel:0532-51-2931(直通)



市議会報告

■平成25年6月定例議会・一般質問

6月定例議会で「総合動植物公園について」一般質問を行いました。

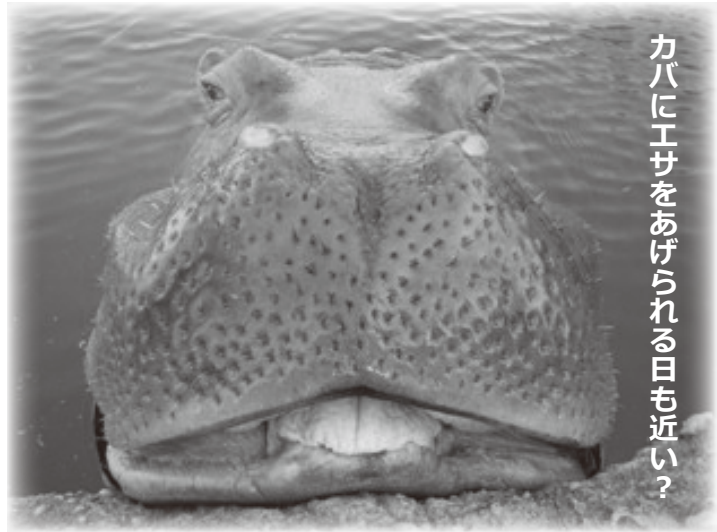
中村：昨年3月定例議会で「毎年、約10億円の税金を投入して運営している総合動植物公園の経営基盤強化・自己収益向上のため、①猛暑による来園客減少対策として、豊川市の“ぎょぎょランド”のような、夏に子どもたちが水遊びできる環境整備をしてはどうか？ ②常識的な金額の範囲内で駐車場を有料化してはどうか？ ③有料で動物に餌をやることのできるサービスを導入してはどうか？ ④移動販売業者を活用し、飲食サービスをもっと楽しく充実させてはどうか？ ⑤遊園地の遊具をファミリー向けに低料金化し、回転率を上げた方が収益増に結びつくのではないか？」という5点の質問をさせていただいたところ、いずれも「検討します。」という答弁を頂きましたが、あれから15ヶ月が経った今、それらの検討の状況・結果について伺います。

当局：①の「子どもの水遊び環境の整備」については、現在、カナル（水路）両サイドの園路整備と、木陰を利用したベンチ等の休憩場所を新設するとともに、水質管理・安全面に配慮した水場の環境確保を進めています。②の「駐車場の有料化」については、新たな収入確保策として有益な考えと受け止め、検討を進めているところです。③の「有料の餌やりサービスの導入」については、本年度5月・6月のイベントで試行的にシマウマ・ニホンザルについて無料で実施し、その際に得られた改善点等を踏まえ、今後は、カバ・カンガルー・ホッキョクグマ等にも対象を広げる検討や、有料で行う際の料金設定等、詳細な詰めの作業をしており、速やかに実施していきたいと考えています。

④の「移動販売業者の活用」については、例年8月に開催のナイトガーデンで、本年度は開催エリアの拡大と新たに飲食ブースを20店舗ほど出店することとしており、将来的にはフードコートの実現のほか、魅力的な売店・レストランの改善にも取り組んでいきたいと考えています。

⑤の「遊園地遊具の低料金化」については、収入増とリピーター確保に繋がると考えており、例えば、一日乗り放題券の導入や、大人・子ども料金の区分など、バラエティに富んだインパクトある料金体系について現在、検討を進めているところです。

中村：①については、既に着手されているということで理解しました。②については、毎年多額の税金が投入されていることを踏まえ、自己収益向上のため、市民に理解が得られる良心的な料金設定に期待します。③については、「速やかに実施したい」とスッキリ答弁いただき理解しました。④については、今年度いっぱい指定管理者との園内の売店等にかかる契約が切れると仄聞しています。次期契約においては、もっと新規参入や面白い試みを行うことに柔軟な契約内容になるよう、対応に期待します。⑤については、乗り放題券の検討も含めて極めて前向きに検討されているということで理解しました。



カバにエサをあげられる日も近い？

■東三河広域連合調査特別委員会が本年6月定例議会から新たに設置

6月19日に開催された同委員会の初会合について東日新聞に掲載されました。

6月20日、東日新聞・一面記事

〈以下抜粋〉

『豊橋市議会の東三河広域連合調査特別委員会の初会合が19日、開かれた。8市町村で設立を目指す広域連合について、委員からは自治体間の取り組みに対する「温度差」を懸念する声や、金銭面でのスケールメリットが不明確という指摘など、初回から活発な議論が交わされた。広域連合に対する姿勢に、各市町村で「温度差」があるのではとただしたのは、芳賀裕崇氏。副市長は「各市町村の理解度、熟度は揃っていない」と認めた上で、「まずは設置して、出来るところから始める。その後、共同事務を付け加えていける柔軟で懐の深いものだ」と広域連合の長所を説明した。